

## ●ライディングモード

パワー:P、エンジンブレーキ:EB、Hondaセレクトアブルトルクコントロール (HSTC):T、ワイリー挙動緩和制御:W、加えて CBR1000RR-R FIREBLADE SPでは電子制御サスペンション:Sの制御レベルを一括で切り替えられるライディングモードを搭載。サーキットに合わせたセッティングがより容易となるよう、上記各パラメーターの制御レベル組み合わせで構成される3種類のライディングモード全てを個別設定できるようにしています。

### ■制御技術一覧

項目	ライディングモード (MODE1 ~ 3)				
	パワーセクター (P)	— 進化 — Honda セレクトアブル トルクコントロール (T)	セレクトアブル エンジンブレーキ (EB)	— 進化 — ワイリー挙動緩和 (W)	— 進化 — ÖHLINS 第2世代 Smart EC (S)
摘要	CBR1000RR-R CBR1000RR-R SP	CBR1000RR-R CBR1000RR-R SP	CBR1000RR-R CBR1000RR-R SP	CBR1000RR-R CBR1000RR-R SP	CBR1000RR-R SP
概要	スロットル操作に対する出力特性を切替えるシステム	後輪への駆動力のレベルを切替えるシステム	スロットル全閉減速時のエンジンブレーキ特性を切替えるシステム	加速時の急激なワイリー挙動を緩和するシステム	前後サスペンションの減衰特性を走行状況に応じて可変するシステム
選択数	レベル 1 ~ 5 (1:強 ~ 5:弱)	レベル 1 ~ 9 (介入度 1:弱 < 9:強) OFF 機能	レベル 1 ~ 3 (1:強 ~ 3:弱)	レベル 1 ~ 3 (介入度 1:弱 < 3:強) OFF 機能	A1 ~ A3 M1 ~ M3

項目	— 進化 — HESD Honda Electronic Steering Damper	— 進化 — クイックシフター	— 進化 — ABS	— 新採用 — スタートモード制御
摘要	CBR1000RR-R CBR1000RR-R SP	CBR1000RR-R (オプション) CBR1000RR-R SP	CBR1000RR-R CBR1000RR-R SP	CBR1000RR-R CBR1000RR-R SP
概要	速度、車体姿勢に応じてステアリングダンパー減衰力特性を可変するシステム	クラッチレバー操作不要でシフトアップ/ダウンを可能とするアシストシステム	・急激なブレーキ操作によるフロントロック抑制 ・直進時のリアリフト抑制	レーシングスタートをアシストするシステム
選択数	3 レベル SOFT / MEDIUM / HARD	制御介入踏力レベル UP: SOFT / MEDIUM / HARD DOWN: SOFT / MEDIUM / HARD OFF 機能	2 モード SPORT / TRACK	エンジン回転数リミット 6000 ~ 9000rpm (1000rpm 毎) OFF 機能

## ●スタートモード制御

RR-Rにはサーキットでの使用を考慮した装備としてスタートモード制御を新規採用し、スキルを要するレーススタート時の操作をサポートします。作動中はスロットルグリップを全開にしてもエンジン回転数にリミットがかかった状態となるため、ライダーはより発進時のクラッチ操作に集中できます。エンジン回転数のリミットは6,000、7,000、8,000、9,000rpmのいずれかの設定が可能です。

## ●Hondaエレクトロニックステアリングダンパー (HESD)

サーキット走行でのステアリング操作に対する素早い応答性と耐キックバック性能を備え、かつ軽量化を図るため、新たにSHOWA (ショーワ) 社製のロッド式電子制御ステアリングダンパーを採用。ステアリングダンパーの減衰特性レベルを3段階で選択可能としています。

HESDは1~3のレベル選択、車輪速センサー信号、6軸IMU (後述) による車体姿勢情報に基づきステアリングダンパーの減衰特性を最適に制御します。これによりサーキット走行を含む幅広いシチュエーションにおいて、ステアリング挙動の乱れを抑えながら、よりライダーの意思に沿った操舵特性を確保しています。

■HESD (CGイメージ)

